

令和7年度 本庄市 施政方針

「支えあいとチャレンジ」
明るく前向きで持続可能なまちづくり
に向け、市政を着実に進展



本 年も、本庄市総合振興計画基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、後期基本計画に基づく施策を市民、事業者、団体の皆さまと

いった多様な主体と協働しながら推進し、「支えあいとチャレンジ」の精神をもって、市政のさらなる発展に取り組みます。

行政経営に関する基本的考え方
社会課題である少子化対策、超高齢社会への対応について、基礎

市民の皆さまのニーズに対して、行政資源を効果的、効率的に活用しながら各種施策を展開するとともに、市民、事業者、団体の皆さまがそれぞれにまちづくりの主体となってその強みを存分に発揮し、活躍できるよう、また、ご

自治体として施策を進めるとともに、交通利便性や安全安心な暮らしやすさといった本市のポテンシャルをさらに高め、対外的にも大いにPRしてまいります。

本年、施策を進めるうえで掲げる言葉は活力の「活」です。一人ひとりが温かい支えあいと、熱いチャレンジ精神を持って課題に向き合い、市政を着実に進展させていく、という願いと決意を込めたものです。

市民の皆さまのニーズに対して、行政資源を効果的、効率的に活用しながら各種施策を展開するとともに、市民、事業者、団体の皆さまがそれぞれにまちづくりの主体となってその強みを存分に発揮し、活躍できるよう、また、ご

協力をいただけるよう、明るく前向きで持続可能なまちづくりを目指してまいります。

予算編成の基本的考え方

本市の財政は、歳入では、根幹である市税や地方交付税の伸びを見込むものの、歳出は、人件費や社会保障関連経費の増加のほか、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や防災対策、公共施設の改修・更新等に係る経費の大きな増加を見込んでいます。

持続可能な財政運営のため、予算編成では、実施事業の歳出抑制を図るとともに、負担の平準化を踏まえた基金や償還額とのバランスを考慮した適正な地方債の活用により、世代間の負担の公平性を

本庄市長

吉田信解

確保し、将来の負担が過大とならないよう努めています。
令和7年度は、総合振興計画後期基本計画に基づく優先的・重点的に取り組む重点施策として、「将来を担う人づくり」、「地域共生社会の実現」、「未来への投資」、「持続可能なまちづくり」の4つを掲げ、積極的に施策を実施してまいります。

令和7年度 本庄市 予算

予算総額
570億3,137万円
(前年度と比べ、
14億2,383万円増)

会計別予算

区分	予算額	増減率
一般会計	337億 300万円	5.5%
特別会計	国民健康保険特別会計	79億 8,942万円 △1.4%
	介護保険特別会計	67億 9,150万円 3.4%
	後期高齢者医療特別会計	12億 571万円 5.5%
特別会計 計	159億 8,663万円	1.1%
公営企業会計	水道事業会計	36億 6,872万円 24.3%
	下水道事業会計	36億 7,302万円 △24.9%
公営企業会計 計	73億 4,174万円	△6.4%
合計	570億 3,137万円	2.6%

※公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計）の予算額は、収益的支出額及び資本的支出額の合計額を記載しています。

市民1人当たり*が負担する市税 15万3,683円

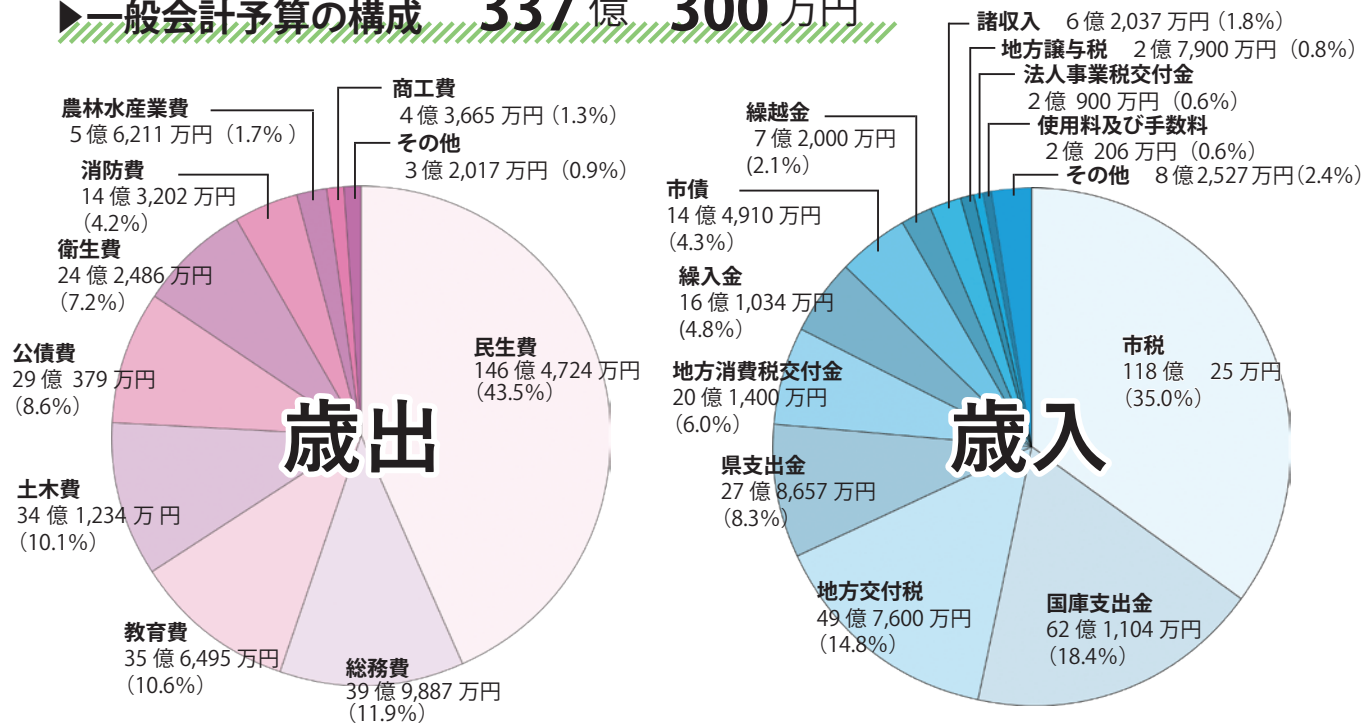
固定資産税	6万 9,214円	市たばこ税	7,639円
市民税	6万 3,843円	軽自動車税	3,542円
都市計画税	9,439円	入湯税	6円

市民1人当たり*に使われるお金 43万8,938円

民生費	19万 761円	衛生費	3万 1,581円
総務費	5万 2,080円	消防費	1万 8,650円
教育費	4万 6,429円	農林水産業費	7,321円
土木費	4万 4,441円	商工費	5,687円
公債費	3万 7,818円	その他	4,170円

※令和7年1月1日現在の人口（76,783人）で計算。

▶一般会計予算の構成 337億 300万円



※構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。